

いわきサンシャイン博

■事業概要・目的

市全域を博覧会場に見立て、既存の観光資源やイベント等を有機的に組み合わせ、観光交流人口の回復を目指すとともに、市制施行50周年記念事業として、市民に対する情報発信も行い、再度いわきの魅力を知る機会を提供し、年間を通して楽しい「いわき」をPRするもの。

- 開催日 通年
- 会場 市内各所
- 参加人数 ー（個別事業の状況は前記のとおり）
- 事業費 101,619,314円
- 実施内容

各地区において既存の観光資源の磨き上げを図りながら、次のような取り組みを展開。

- 基幹イベントの開催
- 市内周遊企画・助成事業の実施
- 講座・セミナー等の開催
- 多様なメディアを活用した情報発信

■事業の成果・今後の施策等への反映

本事業を契機に、観光振興の切り口から「まちづくり」を推進する取り組みが実施できました。

少子高齢化・人口減少が進行する中、既存の地域資源を活用し観光誘客を図ることにより、域外からヒト・モノ・カネの呼び込みを目指すことは、地方創生の戦略目標に合致するものであることから、引き続き地域との連携を図り、観光まちづくり施策を継続して実施して参ります。



オープニングイベント



いわき50祭～みんでお101誕生日～



地域学総合講座

市制施行50周年連携(名称使用)事業

■事業概要・目的

市制施行50周年を市内全域で盛り上げ、市の一体感を醸成するとともに、市内外へ広く情報発信を行うため、市民団体や民間企業の方が自主的に実施する事業で、記念事業として相応しい事業に、記念事業の名称使用の承認やのぼり旗の貸与等の支援を行うもの。

- 開催日 通年
(申請受付は平成28年1月18日～平成29年2月28日まで)
- 会場 市内各所
- 参加人数 ー
- 事業費 ー
- 実施内容

次のいずれにも該当する場合に事業として承認
 ・市制施行50周年記念事業の基本理念・実施方針に則したもの
 ・平成28年4月1日～平成29年3月31日迄の期間に実施されるもの
 ・基本的に、実施場所が市内であり、市民に広く開かれているもの
 承認した事業に対し、事業名称やシンボルマークの使用を承認するとともに、のぼり旗の貸出しや市ホームページによる事業周知などの支援を実施。

- 承認実施事業数 61（各事業の内容は49頁以降に記載）

■事業の成果・今後の施策等への反映

本事業を通じて、市民主体の様々な取り組みが展開されたことにより、市制施行50周年の周知と祝賀意識が高揚されるとともに、市民の皆様が記念事業に参画する機会を、さらに創出することができたものと考えます。



平成28年度夏巡業・大相撲いわき「絆」場所



親子対抗いわきウルトラクイズ選手権大会



田んぼアート

まち・未来創造支援事業（市制施行 50 周年記念事業）

■事業概要・目的

市制施行 50 周年を迎えることに伴い、まち・未来創造支援事業に特別枠を設け、市民活動団体が市制施行 50 周年を祝賀し記念することを主たる目的とした事業に対して、必要な経費の一部補助を行うもの。

■開催日 通年

■会場 ー

■参加人数 ー

■事業費 4,978,000 円

■実施内容

次の 6 事業に対し経費の一部補助を実施。

○いわき街なかコンサート inTAIRA2016（10 月 1 日～2 日）

いわき駅前など平の街中をステージに、多彩なライブ演奏やアートを織り交ぜた文化の祭典として開催。

○アマチュア無線によるいわき市市制 50 周年記念交信証の発行
いわきを PR する動画が視聴できる QR コードが付いた交信証明証を年間を通して発行し、いわきの魅力を幅広く発信。

○いわき芸術祭「玄玄天」（10 月 22 日～11 月 13 日）

市内各所において地域の伝統や文化、風土に基づいた作品による現代アートの芸術祭を開催。

○ツール・ド・いわき 2016（11 月 6 日）

復興支援や震災の記憶の継承、さらには観光誘客を目的に、津波被害が甚大だった沿岸部や、余震により被害があった山間部などを舞台としたサイクリングイベントを開催。

○田人復興祭（11 月 19 日～27 日）

復興に向けた地域住民の気力を取り戻し、地場産品等の消費拡大、さらには地域経済の活性化を図るため、「たびとほっこり祭」等のイベントを開催。

○かわまえの秋 2016（9 月 24 日～11 月 13 日）

交流人口の拡大を図るため、「鬼ヶ城収穫祭」や「鹿又川渓谷ウォーキング」など、川前町の自然の豊かさを来訪者が実感できるイベントを開催。

■事業の成果・今後の施策等への反映

市民活動団体の皆さんの創意のもと、それぞれの特色を生かした取り組みが市内各所で実施され、新たな交流が生まれるとともに、既存の地域資源の再発見や掘り起しが図られるなど、本事業が地域活性化に寄与することに繋がったものと考えます。

今回の取り組みを契機に、市民活動がさらに活発になることを期待するとともに、引き続き市民の皆様と一緒に、地域資源を共有し、未来を見据え、暮らし続けたい地域コミュニティ、まちづくりを目指した事業に取り組んで参ります。



いわき街なかコンサート inTAIRA2016



ツール・ド・いわき 2016



かわまえの秋 2016

小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト

■事業概要・目的

「胃・飾・縦」をテーマに、開港 60 周年でもある小名浜港の様々な資源を活用したイベントを、1 年を通して展開することにより、地域の賑わい創出や愛着心などを醸成するとともに、元気ないわき市の姿を広く発信するもの。

■開催日 通年

■会場 小名浜港周辺

■参加人数 約 40,000 人（イベント参加者延人数）

■事業費 23,910,000 円

■実施内容

【胃】

○カジキグルメサミット 2016（9 月 3 日～4 日）

○風評被害払拭 吉田類先生と福島を食す（12 月 9 日）

【飾】

○客船「にっぽん丸」小名浜寄港歓迎イベント（6 月 25 日）

○開港 60 周年記念クルーズ講演会&体験会（7 月 18 日）

○海上自衛隊護衛艦「ちくま」一般公開（10 月 16 日）

○年間賑わいプロジェクト（通年）

【縦】

○汐風竹町フェスタ（10 月 9 日）

○人力戦艦「汐風」プロジェクト（11 月 4 日、3 月 20 日）

○港とまちを結ぶ INMOTION プロジェクト（通年）

■事業の成果・今後の施策等への反映

小名浜港が開港 60 周年を迎える年に、記念事業プレゼン大会の企画アイデアに基づく本事業を実施したことにより、小名浜港周辺での賑わい創出に大きく寄与することができたと考えます。

事業の一環として行った個々の取り組みについては、地元団体が主体となり、今後も継続される可能性があることから、市としては、広報などの側面的な支援を検討して参ります。



カジキグルメサミット 2016



客船「にっぽん丸」小名浜寄港歓迎イベント



海上自衛隊護衛艦「ちくま」一般公開

いわきまつり

■事業概要・目的

地区の伝統ある夏まつりを開催する、各地区夏まつり実行委員会等に対し、開催運営費の一部補助を行うことを通して、市制施行50周年となる市内各地の賑わいを創出するもの。

■開催日 平成28年7月～8月

■会場 市内各所

■参加人数 約534,500人

■事業費 4,491,000円

■実施内容

- いわきおどり勿来大会と鮫川花火大会（勿来地区：7月30日）
- 四倉ねぶたといわきおどりの夕べ（四倉地区：7月30日）
- 金魚つかみ大会・やっぺおどり（常磐地区：8月4日～5日）
- 平七夕まつり（平地区：8月6日～8日）
- いわき回転轆盆踊り大会（内郷地区：8月13日～15日）
- 夏井川流灯花火大会（平地区：8月20日）
- 好間わっしょい（好間地区：8月21日）

■事業の成果・今後の施策等への反映

本事業は、地区の伝統ある夏まつりの事業費の一部を継続的に支援しているもので、市制施行50周年を市内各地で盛り上げるべく、本年も補助を行ったところです。

これらの夏まつりの参加人数（入込数）は、534,500人に達し、いわきの伝統ある夏まつりを通して、元気ないわきを市内外に発信することができたと考えます。

今後も継続的な支援により、観光交流人口の回復と地域経済の活性化を図って参りたいと思います。



平七夕まつり



四倉ねぶたといわきおどりの夕べ



やっぺおどり



いわき回転轆盆踊り大会

（第63回）いわき花火大会

■事業概要・目的

いわき花火大会及びおなはま海遊祭、いわきおどり小名浜大会を運営する「いわき花火大会実行委員会」に対し、いわき花火大会等の開催運営費の一部補助を行い、市制施行50周年に併せたプログラムの充実など、例年の大会をグレードアップして開催し、50周年の祝いと復興への着実な歩みを市内外に広く発信するもの。

■開催日 平成28年8月6日

■会場 小名浜港アクアマリンパーク1・2号埠頭間

■参加人数 約60,000人

■事業費 30,000,000円

■実施内容

「感動を一つに!! 心の一つに!! そしていわきを一つに!! ～次の100年に向けて～」を大会テーマに掲げ、創作花火など大会史上最大となる約2万発の花火を打ち上げるとともに、50周年に因んだ特別企画を実施。

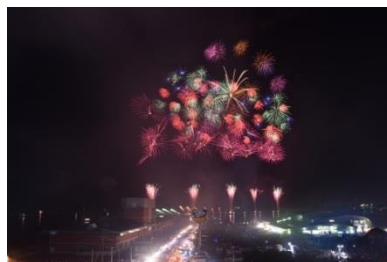
また、その前夜祭として5日に「いわきおどり小名浜大会」を鹿島街道で、7月末に「おなはま海遊祭」をアクアマリンパークにおいてそれぞれ開催。



おなはま海遊祭



いわきおどり小名浜大会



■事業の成果・今後の施策等への反映

記念事業プレゼン大会における提案（海外芸術家のプロデュースによる昼花火）は、場所の問題により実施に至りませんでした。セレモニーの充実や固定化したプログラムの見直しを行い、全国有数の花火大会と並ぶ約2万発の花火を打ち上げた本大会は、記念大会として相応しい内容で開催することができたと考えています。

来場者も昨年に比べて約5,000人増加しており、その評価も良好であったことから、市内外の来場者に対し、震災を乗り越え復興へと着実な歩みを続ける元気ないわきの姿を全国に発信することができたものと考えます。

本大会は、市内外からの誘客効果が極めて高いイベントであり、その魅力や将来性が非常に高い事業であることを再確認することができ、今後も充実した内容の大会を開催することで、市内外からの来場者の更なる拡大を目指して取り組んで参ります。

第20回サイクルフェスティバル 2016in いわき

■事業概要・目的

サイクルスポーツの普及・発展や、本市のイメージアップと県内外からの交流人口の拡大などを図るため、全日本実業団自転車競技連盟によるクリテリウム競技と、一般市民参加型のサイクルアトラクションを併せて開催するもの。

■開催日 平成28年9月17日～18日

■会場 21世紀の森公園

■参加人数 約500人

■事業費 5,500,000円

■実施内容

○クリテリウム

他の交通機関から遮断された高低差の少ないサーキットコースを周回するロードレースを開催。

○自転車教室

特設コース内で、年中から小学生低学年を対象とした自転車の乗車指導教室を開催。

○ママチャリー本橋レース

一本橋の上を脱輪せずに早く渡りきることができるかを競うレースを開催。

○競輪選手との触合いイベント

競輪選手を招いてゲームイベント等を開催。

○各種コーナーの設置

競輪PRコーナーや移動式の足湯コーナーのほか、飲食コーナー、いわき農産品試食コーナーを設置。

■事業の成果・今後の施策等への反映

大会二日目は荒天により、ママチャリー耐久レースや三輪車耐久レースなどの催しが中止となってしまいましたが、大会初日は天候にも恵まれ、自転車教室をはじめ多くのイベントに参加者が集まり、サイクルスポーツの普及・発展に寄与したものと考えます。

自転車の利用促進は、環境負荷の削減や健康の増進にも繋がることから、今後もサイクルスポーツの普及・発展に向けた取り組みへの支援を行って参ります。



いわきバッテリーバレーフェスタ 2016～ミライトアソボ～（いわき産業復興祭）

■事業概要・目的

記念事業プレゼン大会の企画提案である「産業復興祭」と、いわきバッテリーバレーフェスタ実行委員会によるイベントを併せて開催し、未来を担う子ども達を含めた地域の人々の、ものづくりへの興味・関心を育むとともに、産業振興による活力に満ち溢れた未来の創出を図るもの。

■開催日 平成28年9月17日～18日

■会場 いわき芸術文化交流館、平中央公園、
いわき市役所（正面玄関前）

■参加人数 約18,000人

■事業費 8,513,743円

■実施内容

○JAXA 宇宙飛行士 星出彰彦氏 講演会

○「未来を描こう絵画コンクール」表彰式

○バッテリー技術セミナー

○バッテリー版「浜魂（ハマコン）」

○ソフトバンク(株) 中山五輪男氏 講演会

○ロボットステージ～ASIMOとアソボ～

○UNI-CAB 体験会

○燃料電池を学ぼう～水素のミライトパワー～

○超小型モビリティ試乗体験会

○INMOTION 試乗体験会

○次世代自動車展示

○バッテリー関連企業ブース設置

○いわき技連「匠の技コーナー」

○ステージイベント・飲食販売ブース

■事業の成果・今後の施策等への反映

北海道から愛知県までの広い地域から、2日間で約18,000人の来場があり、本事業に対する関心の高さが伺えました。

来場者アンケートでは、約8割の来場者が総合的に満足する結果を得られるとともに、約9割の来場者がバッテリーバレー構想への理解を示し、特に若年者の理解度が高かったことから、当初の目的・ターゲットであった将来を担う子ども達への発信として、一定の成果を得たものと認識しています。

今後は、事業検証を進めるとともに、今回の取り組みで強化された官民のネットワークを十分に活用し、創意・工夫しながら、市民の意識醸成や将来の産業人材育成につながる継続的な取り組みを検討して参ります。



いわきを繋ぐプロジェクションマッピング

■事業概要・目的

市民の郷土愛や親近感、一体感の醸成に繋げ、将来に向けた絆をさらに深める機会を創出するため、本市の50年の歩みや、本市の将来を担う子ども達が描いた「いわき市の未来」のイラスト等から構成する映像をプロジェクションマッピングとして投影するイベントを開催するもの。

■開催日 平成28年10月1日

■会場 LATOV（北側壁面）

■参加人数 一（サンシャイン博の複合型イベントとして実施）

■事業費 7,901,888円

■実施内容

午後7時から午後8時半まで1回約30分の映像を3回投影。投影映像は関係団体から推薦された方々から構成する実行委員会及びワークショップでの意見調整等を図りながら作成。

1 前映像（10分）

市内の過去の街並みなどの写真から、本市の半世紀の歩みを振り返る

2 本編映像（10分）

- (1) 合併後から現在のいわき市へと至る「成り立ち」
- (2) いわき市の気候や自然の豊かさ、伝統的な祭りや産業都市をイメージする「精神・躍動・人々」
- (3) 市内の小中学生や高校生が描いた「子どもたちの描く未来のいわき」※公募したイラスト40作品の内、28作品を活用。
- (4) いわきが周辺地域、世界中、そして未来へ繋がる「未来・共生」

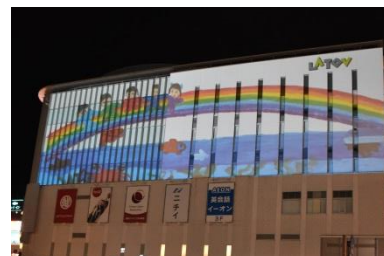
3 後映像（10分）

次回上映時間の告知等

■事業の成果・今後の施策等への反映

本事業は、記念事業プレゼン大会の企画アイデアを事業化したものであり、市制施行50周年の記念として、本市の50年の歩みや、本市の将来を担う子ども達が描いた「いわき市の未来」のイラスト等から構成する映像を大勢の市民に見ていただけたことで、市民の郷土愛・親近感・一体感の醸成などが図られたものと考えます。

本事業による機運の高まりを生かして、引き続き、観光交流人口の拡大を図る施策を展開して参ります。



食の都いわきづくり事業「ふりかけグランプリ®inいわき2016」

■事業概要・目的

市内外の消費者に対し、安全・安心に関する各種情報を提供し、本市の農林水産物への理解の促進及び需要の活性化を目的に、いわき市の主要な農作物である米を活用した消費者参加型のイベントとして開催するもの。

■開催日 平成28年10月15日～16日

■会場 小名浜港アクアマリンパーク

■参加人数 約42,000人

■事業費 4,998,240円

■実施内容

当日は「いわきサンシャインフェスタ2016」と題し、いわき大物産展やいわき農産物収穫祭のほか、ステージイベント等を複合的に開催。

1 米使用量：精米650kg

2 米販売数：3,944食

3 出展者数：14社（県内1社）

4 イベントの流れ

- ・来場者がごはんパックを購入し各ブースのふりかけを試食
- ・お気に入りのふりかけの投票箱に投票
- ・投票獲得数で金・銀・銅賞を決定

5 結果

金賞 のりたっぷり桜えびふりかけ（㈱磯駒海苔（静岡県））

銀賞 ぶっかけ海苔めし（㈱守屋（千葉県））

銅賞 麓山高原豚ふりかけ（㈱JAライフクエイト福島（福島県））

■事業の成果・今後の施策等への反映

2日間で約4,000食の米を提供するなど、いわき産農林水産物に対する安心性・いわき産米の美味しさ等の魅力を発信することができました。

また、イベント終了後の各種メディアへの露出効果により、シテイセールズと経済効果も見込まれるものと考えます。

今後も引き続き、本市の農林水産物への理解の促進や需要の活性化に向けて各種事業に取り組んで参ります。

